

特集1 **魅力満載** **いいたて希望の里学園**

飯館村の真ん中で子どもたちの笑顔が輝いています。10月末に開催された、いいたてつ子発表会「赤蜻祭」の様子と合わせて、「いいたて希望の里学園」の魅力を紹介します。



**教育目標**

**夢ふくらませ 道を拓く**

自ら学ぶ力 認め合う心 健全な心身

今日はどんな楽しいことが待っているのかな。  
バスプールから昇降口へ走り出す児童。

**令和4年度重点目標**

夢や目標に向かって粘り強く取り組もう  
～目標にむかって、コツコツとことん～

木の温もりあふれる校舎に  
最新教育機器を整備  
豊かな心を育み  
学びを深めています

令和2年4月に開校した「いいたて希望の里学園」。3つの小学校(草野小・飯樋小・白石小)と飯館中学校を統合して誕生した義務教育学校です。旧飯館中学校を改修した魅力あふれる校舎は、村役場やスポーツ公園と同じセンター地区にあり、「までのり」の里のこども園とも隣接しています。

震災時の全村避難に伴い、学校も平成30年3月まで村外の仮設校舎にありましたが、その逆境をもつ教育環境と捉えた積極的な教育活動で、小中学校共に多くの成果を残しました。学校は避難を終えて村内に戻り、令和2年4月に、被災地初の義務教育学校として「いいたて希望の里学園」が開校しました。

開校から3年目。「いいたて希望の里学園」は、少人数教育と豊かな教育環境のメリットを生かし、義務教育学校としての先進的な教育を推進しています。

11月25日現在77人が在籍しており、こども園を合わせると、村の園・学校に通う子どもたちの人数は120人で、そのうち51人が村内に居住しています。

2階の多目的ホールは、主にワークショップやオンライン交流、全校集会などで活用しています。「いいたて学」などで探究活動を行う際には、最新の大型電子黒板5台を並べ、互いの考えを共有しながら話し合いを深めています。



今年度は、令和の日本型教育で求められている「ファシリテーション能力」の育成に力を入れ、子どもたち同士が話し合いを進めながら、主体的に問題解決・合意形成ができるようにしています。

※ファシリテーション＝問題解決に向けた話し合いなどで共通認識や相互理解を促進するためのサポートを行う手法